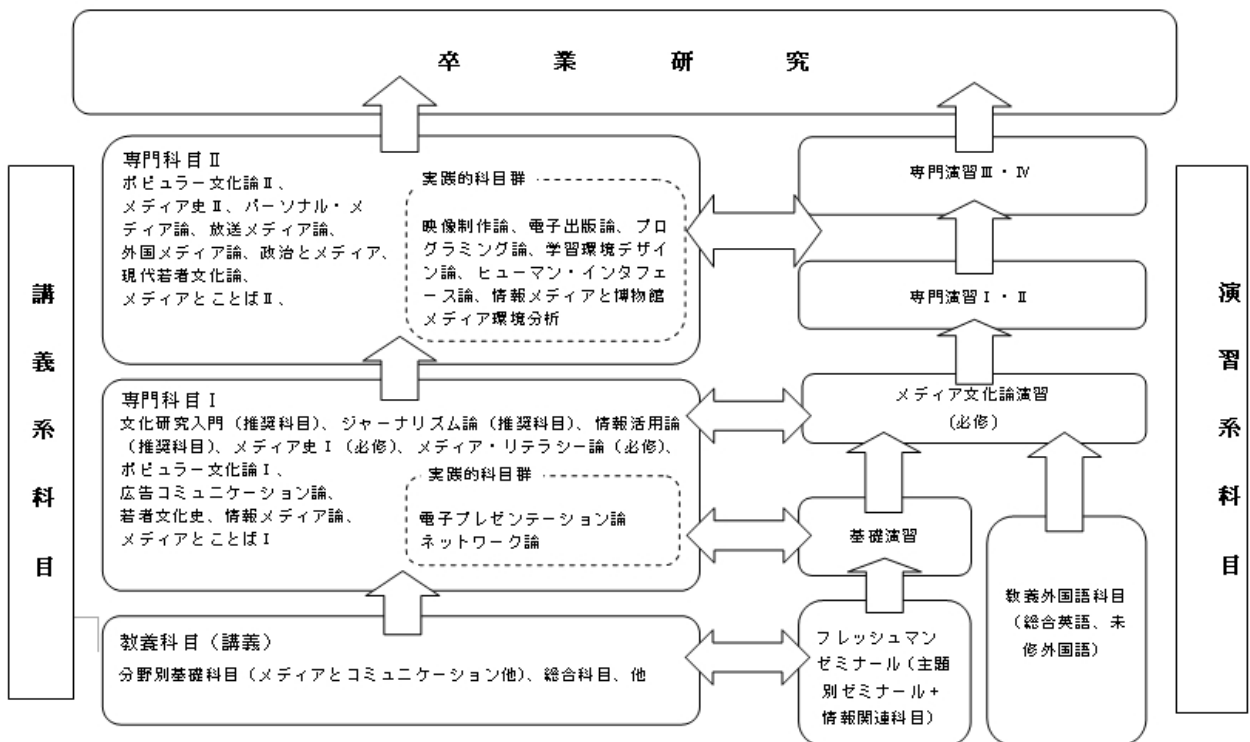


メディア文化コースのカリキュラムについて

(1) メディア文化コースのカリキュラム構成

2年次前学期においては、コース推奨科目（「文化研究入門」「ジャーナリズム論」「情報活用論」）を中心に履修し、コースに進む基礎学力をつけます。2年次後学期からは、講義系科目の必修「メディア史Ⅰ」、「メディア・リテラシー論」、演習系科目の必修「メディア文化論演習」を中心に履修し、専門的な知識と理論、さらに思考力を身につけます。3年次からはこれらに加えて専門演習（必修）を履修し、論理的構成力、思考力を身につけます。そして、それらの学修の集大成として、4年次に卒業研究に取り組むこととなります。卒業研究としては、論文のほか作品制作も可能です。なお、メディア文化コースでは実践的な学びを重視しており、それらに該当する科目はカリキュラムマップの中では点線でくくってあります。

(2) メディア文化コースのカリキュラムマップ



(3) メディア文化コースの学年ごとの達成基準及び対応授業科目表

		達成基準	対応授業科目
1 年次	通年	①コースでの学修に必要な汎用的な基礎的能力及び語学力を身につけている。	②フレッシュマン・ゼミナール、 教養外国語科目（総合英語、未修外国語）、分野別基礎科目（メディアとコミュニケーション、他）
2 年次	前学期	①メディア文化研究の多様な領域の概要を知り、その基本的な考え方を理解している。 ②情報活用の実践的な能力を身につけている。	①文化研究の方法Ⅰ、ジャーナリズム論 ①基礎演習 ②情報活用論、電子プレゼンテーション論
	後学期	①今後の学習の基礎となるマス・カルチャー、マス・メディア、情報メディアの基礎的な知識を身につけている。 ②メディアの特質の理解に基づき、情報を批判的に受容し、かつ適切に発信する態度を身につけている。 ③卒業研究に結びつく読解力の基礎を身につけている。	①メディア文化論演習、メディア史Ⅰ（必修）、情報メディア論、 ②メディア・リテラシー論（必修）、ネットワーク論 ③メディア文化論演習（必修）
3 年次	前学期	①専門分野の文献・資料を読解することができる。 ②卒業研究（論文）の作成に必要な調査・分析の手法を理解している。あるいは卒業研究（制作）に必要な手法（企画・構成）を身につけている。	①専門演習Ⅰ ②専門演習Ⅰ、文化研究の方法Ⅱ、映像制作論
	後学期	①自らの問題意識に基づき、卒業研究（論文あるいは制作）のテーマを設定し、論理的に発表できる。 ②卒業研究（論文）に必要な調査・分析の手法を身につけ、実践することができる。あるいは卒業研究（制作）に必要な手法を実践することができる。	①専門演習Ⅱ、専門科目Ⅱの選択科目 ②専門演習Ⅱ、専門科目Ⅱの選択科目
4 年次	前学期	①設定したテーマ、作成した計画に従って、卒業研究（論文あるいは制作）に取り組むことができる。	①卒業研究、専門演習Ⅲ、専門科目Ⅱの選択科目
	後学期	①卒業研究（論文あるいは制作）をまとめ、成果を適切に発信することができる。	①卒業研究、専門演習Ⅳ、専門科目Ⅱの選択科目

※「フレッシュマン・ゼミナール」とは「主題別ゼミナール」と「情報関連科目」を合わせた呼称です。